

全体の概況

2020年度は新型コロナウイルスの蔓延による被害で、宿泊・観光業を中心として、全世界で未曾有の災害に翻弄された一年でした。日本だけでなく世界中が「東京2020」と楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピックも延期を余儀なくされました。

その中で、当協会では、ユースホステル運動の根幹となる青少年健全育成のために、新大阪・羽衣・貝塚の3施設の管理・運営と、主にそれら施設を拠点に各種事業を安全に最大限の配慮を行ない実施してきました。しかし、日本の青少年運動は、少子化や環境の変化、子ども達の嗜好の変化など様々な理由による参加者の減少が続き、また指導者の不足や高齢化などもあり、存続が厳しい状況にあります。2020年度は、そこに新型コロナ禍の長期化が追い打ちをかけることになりました。

ここで改めて、ユースホステル運動の社会的な使命を意識し、未来の社会に求められるものにする必要があることを考える一年になりました。今こそ、アフターコロナを見据えて、世代間の繋がりや形成、地域や国境を越えた交流の場、自然体験・旅の拠点など、様々な役割を担うことが我々の使命であると考えます。

前年の4月から5月末まで全施設臨時休館となり（貝塚は3月から）上半期は協会事業のほとんどが中止を余儀なくされました。上半期の「100kmウォーク」は例年参加者も多く、秋の催行に延期をしましたが、8月に中止の判断をすることになりました。後半は、10～11月に少し持ち直したものの、感染の第二波の影響により、歴史のある「伊勢迄歩講」も中止することとなりました。また、前年度から行っている「旅をする機会に恵まれない子ども達に旅を贈ろう」という企画も、国際ユースホステル連盟、日本を含む関係各国のユースホステル協会と協議をして中止となりました。

このような中で、新大阪事業部は、2020年度から5年間の指定管理がスタートし、大阪市への提案として新しい取り組み、サービスを行う予定でしたが、大きな環境変化により、推進することは出来ませんでした。また、羽衣、貝塚を含めて、宿泊部門が国内外からの各団体（子ども、青少年、学校、スポーツ等）の活動停止が響いて、大きく収入を落とすことになりました。しかし、各事業所では、「家族向けプラン」の強化、学校へは個食型の「防災食プラン」の提案などにより、新しい企画開発が活発になり、行政でもモデルとして紹介され、利用者にも高い評価を得るものになりました。また、今年度は、協会の存続のために積立金の取り崩し、日本政策金融公庫からの借入や政府、行政の様々な制度を活用することになりました。職員の勤務体制も大幅に見直すとともに、「雇用調整助成金」の申請を行いました。この助成金が大きく赤字削減に貢献するとともに、業務の生産性を上げて、効率的で柔軟なシフト作成に活かせるものであり、新たな事業、企画と同様、将来の財産にしていきたいと思います。

また、2020年度には、大阪市立長居ユースホステルを含む長居公園の指定管理の公募があり、ヤンマーホールディングス株式会社を中心とした共同事業体で応募し、2021年4月から20年間の指定管理者として運営することになりました。

今後は、長居ユースホステルを含めた4施設で、積極的に効率的な営業、広報活動を行い、改めてチームワークの大切さ、リアル体験などを重視して、コロナ後の多様性を持った明るい社会創りに貢献してまいります。

1. 事業報告

(1) 事務局

公益財団法人大阪ユースホステル協会の事務局として、府下の三か所の施設の統括と、ユースホステル運動の普及・広報を行いました。新型コロナウイルスの影響により、十分な活動はできませんでした。羽衣事業部改修のための積立金の取崩し、日本政策金融公庫からの借入、持続化給付金等の支援金、雇用調整助成金等の助成金等を活用し、事業活動の継続に努めました。また、各事業部には、コロナ禍における新しい利用者受入方法およびプログラム展開、回復期においては回復状況に応じた施策を打ち出せるように、それぞれ企画や準備を進めるよう促しました。

① 指定管理施設の受託

大阪市立長居ユースホステルの指定管理期間が2021年3月31日で終了し、新たな指定管理者については、公園、スタジアム、植物園、プールなどと一体となった募集が行われました。当協会はヤンマーホールディングス株式会社を中心とした共同事業体として応募し、選定されました。

② 会議

- ・2020年度第1回理事会（6月12日）
- ・2020年度第1回評議員会（6月29日）
- ・2020年度第2回理事会（8月6日（書面表決））
- ・2020年度第3回理事会（11月16日）
- ・2020年度第4回理事会（2021年3月3日）

③ 研修

- ・2020年度職員全体研修・人権研修（2月17日）

例年、全職員が一堂に会して実施していましたが、今年度は所属する事業部にそれぞれ集合し、新大阪会場を中心にしてリモートで実施しました。

④ 会員数の動向（日本ユースホステル協会の統計のため、年度は1月～12月）

2020年度はコロナ禍により旅行活動そのものが停滞したことが影響し、会員数は大きく減少しました。2019年度は23,244人のところ、2020年度は16,874人となり前年比72.6%でした。会員数の推移は、2019年度は前年比97.8%、2018年度が同98.5%であり、微減ながらも新たに導入したデジタル会員証の効果により減少傾向に歯止めがかかりつつありました。しかし、2019年度は前年比105.1%だったデジタル会員証も、2020年度は前年比52.5%の1,485人にとどまっています。

⑤ 宿泊者数の実績（2020年1～12月）（単位：人）

	当年	前年	前年比
全国計	74,827	322,896	23.2%
大阪府下計	7,789	53,814	14.5%
大阪 YH 協会計	5,496	42,651	12.9%

④⑤は日本ユースホステル協会5月15日現在集計による

⑤ 主催・自主事業等

<こども事業>

下記事業いずれも、新型コロナウイルスの影響により中止

- ・水鉄砲大会～ミズリンピック～(8月) (予定 24人)
- ・羽衣スポーツフェスティバル(9月) (予定 24人)
- ・デンジャラス鬼ごっこ(11月) (予定 40人)
- ・チャレンジ電鉄(1月) (予定 24人)

活動を行った事業

- ・新大阪事業部ココプラキッズイベント(9月) リーダー2名がボランティアとして活動

<ウォーキング事業>

下記事業いずれも、新型コロナウイルスの影響により中止

- ・一発チャレンジ100km ウォーキング(5月) (予定 140人)
- ・奈良フォトジェニックウォーク(6月) (予定 20人)
- ・六甲掬星台ウォーク(10月) (予定 30人)
- ・伊勢迄歩講プレウォーク(11月) (予定 30人)
- ・第48回伊勢迄歩講(12月) (予定 80人)
- ・第一回環状線ウォーク(1月) (予定 30人)
- ・歩行検定ウォーク(3月) (予定 20人)

<チャリティー事業>

- ・Sleep for Peace 親子で楽しむクリスマス 新型コロナウイルスの影響により中止(予定 40人)

⑥ ボランティアリーダーの活動

- ・ボランティア募集説明会、ボランティア委嘱会はいずれも新型コロナウイルスの影響により中止
- ・ホスティングコーディネーター(こども)15人

7月予定の研修キャンプは11月に延期したが中止。

定例会は5月まで休止、6月に実施したが再び休止となり、9月からリモートで再開

- ・ALC(ウォーキング)28人 定例会は概ね月1回リモートで実施
- ・国際奉仕団(国際交流)3人 新型コロナウイルスの影響により活動休止
- ・トラベルアドバイザー(旅行相談)5人 相談は1組ごとに行う少人数活動のため中止しなかったが、相談希望者がなかった。

⑦ 普及・広報

- ・ホームページおよび各種SNS(事務局・各施設)
- ・メールマガジン(一般財団法人日本ユースホステル協会月2回発行)
- ・チラシ、パンフレット等(事務局・各施設)
- ・季刊誌「ホスティングマガジン」(一般財団法人日本ユースホステル協会)
- ・モンベルホームページ「フレンドショップイベント」「店舗にてイベントチラシ配布」
- ・大阪観光局ホームページに情報提供
- ・「いこーよ」等イベント情報サイトへの掲載
- ・大阪市広報「いちょう並木」への掲載

⑧ 関係機関との連携・協力

- ・大阪市子どもカーニバル2020に出展予定だったが、中止
- ・モンベルフェアへの出展(近畿ブロックユースホステル協議会として)予定だったが、中止

⑨ 賛助会員 (法人 28 社 232 口、個人1人1口)

大阪運輸倉庫株式会社	大阪ガス株式会社
公益財団法人大阪観光局	一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会
株式会社大林組	近鉄グループホールディングス株式会社
寿不動産株式会社	サントリーホールディングス株式会社
サントリー興産株式会社	サントリーコーポレートビジネス株式会社
株式会社城東輪業社	学校法人清風明育社
株式会社銭高組	ダイキン工業株式会社
株式会社ダイナック	大日本除虫菊株式会社
株式会社竹中工務店	玉造稻荷神社
東洋製罐株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
日本生命保険相互会社	パナソニック株式会社
美津濃株式会社	株式会社三井住友銀行
株式会社モンベル	株式会社安井建築設計事務所
株式会社三菱 UFJ 銀行	
秋山輝男	

(2) 新大阪ユースホステル

4月初旬より5月末は緊急事態措置のため休館し、6月からは新型コロナウイルスガイドラインに基づいて感染対策を実施し、営業を再開しました。個人には個室対応として相部屋利用を休止、団体には定員の半分で利用できるような部屋数の提供を行いました。しかしながら毎年利用いただいている団体もほとんどが自粛によるキャンセルとなり、宿泊数は941人に留まりました。

GoToキャンペーンにも登録し集客を目指しましたが、宿泊料金が安価なため利用者にとってキャンペーンで得られるメリットが少なく、利用は47件77人と振るいませんでした。

集客増への取組みとして、予約サイトでの個室プランの作成、文化ゾーンとの併用利用団体へ合宿等同時利用促進のためのDMなどを行いました。また、10月には韓国からの留学生2名を入国時宿泊先として受入を行い、その経験を生かして、技能研修生の受入も開始する予定でしたが、入国が厳しくなりキャンセルとなりました。

収入増への有効な手がなかなか打てない状況でしたので、施設管理や人員配置に工夫し、支出の抑制を図りました。

① -1 施設管理 (大阪市立青少年センターと一体として実施)

- ・利用料金の改定(4月) 2019年10月の消費税改定時には料金を据え置き、年度の移行に合わせて料金改定を実施
- ・受電設備点検(5月、7月、9月、11月、1月、3月)
- ・消防設備点検(5月、6月、8月、3月)

- ・建築設備定期検査（7月）
- ・防火設備定期検査（7月）
- ・非常用発電機負荷運転（11月）
- ・火災避難訓練（9月、2月）
- ・飲料水水質検査（9月、3月）
- ・貯水槽清掃（10月）
- ・煤煙量等の測定（8月、1月）
- ・昇降設備点検（4月～3月）

① -2 施設管理（宿泊ゾーンとして実施）

- ・AHU、FCU フィルター清掃（6月）
- ・定期清掃（4月、11月、2月）
- ・浴槽用ろ過ユニット点検（6月、10月、2月）
- ・厨房横引き配管清掃（7月）
- ・男子浴室脱衣所エアコン室外機部品交換（7月）
- ・給湯循環器ポンプ水漏れ修理（7月）
- ・10階展示コーナー室内機部品交換（8月）
- ・10階食堂内手洗い場の自動水栓の取り替え工事（9月）
- ・飲料水水質検査（9月、3月）
- ・プレフィルター洗浄（10月、11月）
- ・水漏れによる（屋上）給湯循環ポンプ取り換え工事（2台）（10月）
- ・浴室シャワー系統の（屋上）ラインポンプ取り換え工事（10月）
- ・女子風呂ろ過りモコン故障の修理（12月）
- ・10階展示コーナー室内機部品交換（8月）

② キャンペーン

- ・中学生・高校生の「卒業旅行」応援キャンペーン！（3月） 11組 39名
- ・エキマルシェ 500円チケット付きキャンペーン（7月～） 2件 5名
- ・秋冬向けのカムバックキャンペーン（9月～3月） 実績なし

③ 宿泊者へのサービス事業

例年、コスプレ衣装の貸出・おもちゃ作り・ハーモニカ等によるロビーコンサート・似顔絵・浴衣着付け体験等を実施しているが、新型コロナウイルスの影響により全て見合わせた

④ モニタリング

- ・利用者アンケートの実施
- ・団体代表者からの聞き取り調査
- ・予約サイトの口コミへの返信
- ・予約サイトのレーティング(Booking.com 評価点8.2)

⑤ 利用状況

(単位:人、%)

	目標人数	前年人数	当年人数	前年比	内団体人数	団体数
4月	1,600	2,131	5	0.2%	0	0
5月	1,600	1,608	0	0.0%	0	0
6月	1,300	1,250	41	3.3%	0	0
7月	1,600	1,373	65	4.7%	0	0
8月	2,000	2,605	157	6.0%	6	126
9月	1,600	1,346	76	5.6%	2	19
上半期計	9,700	10,313	344	3.3%	8	145
10月	1,300	1,331	105	7.9%	0	0
11月	1,300	1,497	98	6.5%	0	0
12月	1,700	1,283	17	1.3%	0	0
1月	1,700	1,031	59	5.7%	29	3
2月	1,300	776	118	15.2%	92	13
3月	2,000	392	200	51.0%	87	12
下半期計	9,300	6,310	597	9.5%	208	28
合計	19,000	16,623	941	5.7%	353	38

外国人利用者:2020年度 0人 2019年度 5,273人

日本人利用者:2020年度 941人 2019年度 11,350人

加盟予約サイト:HI ホステル、楽天トラベル、HostelWorld,booking.com、expedia、agoda、
じゃらん、Yahoo!トラベル、るるぶトラベル (61件、153人)

(3) 大阪市立青少年センター

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用コマ数は前年比55.3%、利用人数は前年比39.4%とともに大きく減少しました。4月、5月と休館したことで大きく落ち込み、コロナウイルスの感染の波に合わせるように利用数も増減を繰り返しました。貸室の利用は定員の約半数と制限に伴い、大阪市の施策で7月16日から利用料が半額となりました(半額は大阪市が負担)。

青少年事業は、実施の際には参加者数、ソーシャルディスタンス、消毒等感染防止に十分配慮するなど、対策を施しました。ここぶらキッズイベントは感染状況に対応し12回中5回実施、7回中止となりました。また、キッズダンス事業も6月まで中止しましたが、7月から再開し、昨年実施できなかった3月の「サックスギビングフェスタ」で発表を行ないました。

本年6月からスタートした、Dance&Vocal Entertainment「RE:MAKE」は、リモートおよびホールなどの広い会場を用い、43名の子どもたちが歌やダンス、お芝居の稽古を2021年4月の公演(定員150名・4回公演)に向けて懸命に行ないました。チケットはすぐに完売となる盛況ぶりでした。

施設の維持管理面では、利用の落ち込みにより、経営が安定せず、最低限の修理に留まりました。

① 会議・研修

- ・大阪市との調整会議(毎月第2火曜日)
- ・東淀川区生涯学習関連施設連絡会(4月・3月)

② 施設管理

- ・利用時間区分の変更(4月) 1時間単位での貸出の部屋に、10分間のインターバルを設けた。
- ・企画制作室711号室を1室増室(4月)
- ・1号エレベータ ドア機構修理(5月)
- ・801及び803号室窓ハンドル故障修理(6月)
- ・吸収式エアコンベルト故障交換修理(7月)
- ・事業用 電子キーボード2台購入 (9月)
- ・講義室405号室冷温水配管水漏れ修理(11月)
- ・講義室、研修室用会議机故障修理(1月)
- ・2階ホール サイドスピーカー故障修理(3月)

③ 利用状況

(単位:人、%)

	利用コマ数	前年比	利用率	人数	目標人数
4月	529	12.4%	17.1%	1,984	20,000
5月	0	0.0%	0.0%	0	19,000
6月	1,955	44.0%	29.1%	6,514	20,000
7月	2,669	58.0%	37.8%	8,800	21,000
8月	2,999	63.7%	42.4%	8,800	21,500
9月	3,053	65.8%	44.4%	9,714	21,000
上半期計	11,205	41.4%	36.3%	35,812	122,500
10月	3,340	72.9%	46.4%	11,052	20,500
11月	3,220	71.2%	46.5%	11,222	21,000
12月	2,862	68.1%	42.7%	9,113	19,000
1月	2,358	60.1%	40.1%	6,268	18,000
2月	2,663	60.7%	46.0%	7,061	19,000
3月	3,339	89.5%	46.5%	10,707	20,000
下半期計	17,782	70.2%	44.8%	55,423	117,500
合計	28,987	55.3%	41.1%	91,235	240,000

2019年度 利用コマ数:52,429コマ 利用人数:231,701人

④ 青少年育成事業

- ・ここぶらキッズ 定期スペース開放
 - 4月～8月・12月～3月は、新型コロナ感染拡大により中止
 - 9月～1月・休館日を除く水曜日に実施 計15回) 参加 延べ 35人
- ・ここぶらキッズ イベント事業(月1回実施)
 - 4月～7月 新型コロナウイルスの影響により中止
 - 8月 ペットボトルで風鈴作り 参加 13人(予定 20人)
 - 9月 望遠鏡作り 参加 13人(予定 20人)
 - 10月 ハロウィーン小物作り 参加 28人(予定 20人)
 - 11月 アドベントカレンダー作り 参加 19人(予定 20人)
 - 12月 サンタブーツ作り 参加 23人(予定 20人)
 - 1月～3月 新型コロナウイルスの影響により中止
- ・七夕まつり 短冊に願いを 6～7月 参加 161人(予定 400人)
- ・夏休み親子で楽しむ工作教室 新型コロナウイルスの影響により中止

- ・キッズダンス事業 初心者集まれ！KIDS DANCE！！
4月～6月、新型コロナウイルスの影響により中止。7月に再開。
「サンクスギビングフェスタ」での発表に向けてレッスン32回 参加 21人(予定 20人)
- ・KOKO秋フェスティバル 新型コロナウイルスの影響により中止
- ・高校生KOKOチャレンジアワー 新型コロナウイルスの影響により中止
- ・第14回 サンクスギビングフェスタ (3月) 参加 69名 配信観覧(185名)

⑤ 自主事業

- ・KOKOカルチャー教室
4～6月、新型コロナウイルスの影響により中止。7月に再開。
やさしいヨーガ (24回) 参加 3人(予定 5人)
ささっと描ける！似顔絵教室 (17回) 参加 6人(予定 5人)
はじめよう！自彊術 (30回) 参加 3人(予定 5人)
中高年から始めるらくらくピアノ (10・11・3月のみの開催、7回) 参加 10人(予定 10人)
- ・童謡喫茶 (毎月1回) 新型コロナ感染拡大により中止

⑥ モニタリング

- ・「利用者の声」箱の設置
- ・事業参加者へのアンケート

⑦ 大阪市により実施の施設維持管理業務

- ・中央監視盤の更新

(4) ココカフェ

新たな利用者獲得のために、ココプラザ1階受付にてご利用者にドリンク割引券を配布しました。また、ランチでは、通常メニューに加え、夏季は「ハワイフェア」、冬季は「ハンバーグフェア」をそれぞれ期間限定で実施しました。さらに夏季は喫茶タイムにアジアデザートフェアを開催し、台湾スノーアイス、タピオカドリンク等をメニューに加え、客単価のアップを図りました。

店内のレイアウトをコロナウイルス感染予防の為、座席数を50%削減しました。これを補う為に店舗前ピロティの空きスペースにテラス席を設置し、座席数を確保しました。また、レジのシステムを一新した事により、配置するスタッフを削減することができました。

このような取り組みをしてきましたが、飲食店の営業自粛に伴う、約5ヵ月の臨時休業が響いて、大きく売上を落とす結果になりました。

① 売上増への取組み

- ランチ
 - ・ランチメニュー全品(フェアメニューを含む)テイクアウトとココプラザ館内へのデリバリーに対応
 - ・プレミアムポーク認定 山形豚を全面に押し出したメニューを提供
 - ・スポット食材ソフトシェルシュリンプ/焼津産カツオ/等を使用したランチフェアの開催(夏のハワイフェア、冬のハンバーグフェア)
 - レギュラーメニューにカレーのバリエーションを追加

- 喫茶 ・フードメニューにカレー/パスタ/ホットドッグを追加
- ドリンク ・テイクアウトとココプラザ館内へのデリバリーに対応
・セットドリンクのバリエーションの充実
- 広報 ・館内エレベータ2基内に広報ポスター掲示
・店頭入口付近にメニューの大型タペストリーを設置
・ココプラザ利用者へのドリンク割引券の配布

- ・ランチ 2020年度 2,484食 2019年度 10,266食 前年比 24.2%
- ・弁当 2020年度 372食 2019年度 2,632食 前年比 14.1%
- ・パーティー 新型コロナウイルスの影響により夜の営業を休止しました。

② 利用状況

(単位:千円)

	予算額	前年度売上	当年度売上	前年比
4月	1,595	1,569	88	5.6%
5月	1,945	1,943	0	
6月	2,060	1,954	453	23.2%
7月	1,960	1,693	443	26.2%
8月	2,030	2,144	493	23.0%
9月	1,840	1,682	515	30.6%
上半期計	11,430	10,985	1,992	18.1%
10月	1,810	1,738	386	22.2%
11月	1,830	1,826	445	24.4%
12月	2,680	2,705	291	10.8%
1月	1,860	1,781	28	1.6%
2月	1,880	1,428	41	2.9%
3月	1,980	625	399	63.8%
下半期計	12,040	10,103	1,590	15.7%
合計	23,470	21,088	3,582	17.0%

③ イベント・事業等

< 飲食催事 >

- ・夏のハワイフェア(7~8月) 参加 70人
- ・冬のハンバーグフェア(11~2月) 参加 110人
- ・アジアデザートフェア(7~8月) 参加 57人

< ライブ事業 >

- ・フォークソングナイト(11月) 参加 9人

毎月実施の事業ですが、新型コロナウイルスの影響により中止、11月に再開しましたが、12月から再び中止となりました。

(5) 大阪国際ユースホステル

新型コロナウイルス感染拡大により、4月~6月はほぼ休業状態に陥りました。緊急事態宣言が解除されても、施設利用の動きは乏しく、繁忙期も思うように利用は伸びませんでした。

9月以降の学校行事の再開を想定し、大阪府下の小・中学校に施設パンフレットを一斉送付するなど

営業活動をしながら、5月の中旬からは公園来園者向けに、弁当・サンドウィッチ・クレープ等のテイクアウト販売や座席数を絞った上でのランチ営業をするなど、少しでも収入を得る努力をしてきました。

宿泊予約が思うように伸びないのを逆にとり、安全に利用いただけることを売りにしたフロア貸切のキャンペーンを企画したり、家族向けの宿泊プランの考案をしました。近隣の交通遊園と連携した鉄道運転体験宿泊プランは1日に1組限定ではありましたが、大変人気のプランとなりました。

コロナウイルス感染症の収束状況に応じて利用を取り戻すべく、地道な営業努力を重ね、従来とは違う視点から新しい企画を展開していくなど、施設の魅力を発信しながら宿泊者の獲得に努めます。

① 施設管理

- ・食肉、乳、魚介類販売の営業許可証の更新(6月)
- ・消防避難訓練(6月・3月)
- ・衛生管理を中心とした和泉保健所の立ち入り検査(7月)
- ・建築設備を中心とした泉佐野保健所の立ち入り検査(7月)
- ・消防署の立ち入り検査(7月)
- ・防火対象物点検報告の特例認定交付(7月)

② 利用状況

	目標人数	前年人数	当年人数	前年比	内団体人数	団体数
4月	2,300	2,358	87	3.7%	79	4
5月	2,200	2,303	0		0	0
6月	2,200	2,185	30	1.4%	30	2
7月	3,000	2,757	140	5.1%	137	11
8月	4,000	3,929	346	8.8%	332	15
9月	2,000	1,904	471	24.7%	424	15
上半期計	15,700	15,436	1,074	7.0%	1,002	47
10月	1,800	1,227	8	0.7%	0	0
11月	1,800	920	302	32.8%	284	16
12月	1,200	1,202	294	24.5%	270	10
1月	1,000	554	55	9.9%	41	3
2月	1,400	430	10	2.3%	4	1
3月	3,100	91	634	696.7%	627	24
下半期計	10,300	4,424	1,303	29.5%	1,226	54
合計	26,000	19,860	2,377	12.0%	2,228	101

外国人利用者：2020年度 0人、2019年度 910人

日本人利用者：2020年度 2,377人、2019年度 18,950人

加盟予約サイト：HIホステル、Hostel World、楽天トラベル、booking.com、expedia、agoda、じゃらん(6件、44人)

③ モニタリング

- ・利用者アンケート
- ・利用者からの聞き取り調査
- ・予約サイトのレーティング

(6) 羽衣青少年センター

新型コロナウイルス感染防止を考慮し、各部屋の定員数を減らすなどの対策をした上で営業をしましたが、宿泊団体の利用が少なかったことで、特に館内施設の利用が激減しました。

学校行事の体験活動実施時期や利用施設の変更をしている、という情報から、府内学校団体向けにダイレクトメールの発送を行ないました。今年度の結果にはつながりませんでしたが、問い合わせなど反応はありましたので、今後の利用促進につながるよう営業活動を行います。

主催事業は、食事や調理を伴う子どもが対象の事業の実施は難しい状況でしたが、ヨガや太極拳は感染防止対策を取った上で実施しました。体を動かす機会を提供することができたので大変喜ばれました。また、実施できなかった事業に代わり、家族向けに施設の魅力を生かした事業を企画し、参加者には好評を得ました。

① 会議・渉外

事業協力を行っていた浜寺公園のスプリングフェスタ、オータムフェスタは中止、公園関係施設協議会も開催を見合わせる事となりました。

② 利用状況

(単位: %、人)

	研修室・和室・音楽室等	体育館・グランド・3on3	炊さん場	利用人数
2020年度	6.3%	38.6%	13.6%	35,525
2019年度	18.7%	38.9%	21.9%	118,112
前年比	33.7%	99.2%	62.1%	30.1%

	利用コマ数	前年比	利用率	利用人数	目標人数
4月	314	9.7%	17.9%	985	21,000
5月	238	6.9%	11.1%	470	15,000
6月	1,038	33.5%	18.1%	2,378	14,000
7月	1,190	48.9%	14.7%	3,500	13,000
8月	1,371	42.6%	15.8%	3,900	12,000
9月	1,317	60.0%	17.7%	4,555	10,000
上半期計	5,468	31.0%	16.2%	15,788	85,000
10月	1,007	51.4%	13.7%	3,182	10,000
11月	1,147	58.8%	16.5%	4,748	10,000
12月	581	50.1%	9.1%	3,048	5,000
1月	495	65.0%	7.4%	1,761	5,000
2月	571	71.3%	7.0%	1,931	5,000
3月	1,474	112.2%	18.4%	5,067	15,000
下半期計	5,275	66.4%	12.1%	19,737	50,000
合計	10,743	42.0%	13.9%	35,525	135,000

2019年度 利用コマ数: 25,574コマ 利用人数: 118,122人

③ 主催事業

<子ども、親子対象事業>

・はごろもキッズ事業

9月 T シャツトートバック作り	参加 11人(予定 12人)
10月 ハロウィンおばけパン作り	参加 11人(予定 12人)
11月 たき火で簡単ピザ作り	参加 12人(予定 12人)
3月 春休みスペシャルバージョン	参加 17人(予定 16人)
・親子 de アウトドアクッキング (7月)	参加 23人(予定 24人)
・親子 de クラフト(8月)	参加 12人(予定 20人)
・親子 de アウトドアクッキング(10月)	参加 18人(予定 24人)
・ファミリーキャンプ(11月)	参加 10人(予定 20人)
・親子 de アウトドアクッキング(3月)	参加 21人(予定 20人)

<大人対象事業>

・はごろも 寄席 (7月)	参加 18人(予定 20人)
・はごろもヨガスクール (7月 4コース)	参加 73人(予定 140人)
・はごろもヨガスクール (9月開始 4コース)	参加 68人(予定 70人)
・太極拳 (9月開始 2コース)	参加 21人(予定 30人)
・太極拳 剣コース(9月開始 1コース)	参加 8人(予定 20人)
・はごろも 寄席 (10月)	参加 23人(予定 20人)
・ハロウィンナイト(10月)	参加 32人(予定 40人)
・童謡喫茶 (11月)	参加 47人(予定 50人)
・ノルディックウォーキングツアー(11月)	参加 20人(予定 30人)
・はごろもヨガスクール(1月開始 4コース)	参加 69人(予定 70人)
・太極拳(1月開始 2コース)	参加 21人(予定 30人)
・太極拳 剣コース(1月開始 1コース)	参加 11人(予定 20人)

④ ボランティアリーダーに関する事項

・羽衣ボランティア(シニア:炊飯・クラフト等指導)12人	日常指導への協力
・協力ボランティア登録団体(イベント支援等)3団体	主催事業・公園事業への協力

⑤ モニタリング

- ・炊さん場利用者アンケート
- ・事業・イベント参加者アンケート

⑥ 地域との協働など

- ・地域の団体やグループ(シニア自然大学・泉州ひまわりネット・ボランティア活動研究会)に、主催事業の企画参画や運営の補助・プログラム指導を依頼。

(7)大阪府立少年自然の家

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により4月1日から休館、5月26日に全面利用再開となりました。

上半期はコロナの影響を大きく受けましたが、秋以降への利用予約変更を提案するとともに感染対策についてダイレクトメールやSNSを中心に発信するなど、下半期の利用増を図りました。その結果、10月、11月は前年を上回りましたが、12月以降の感染拡大、その後のまん延防止措置や緊急事態宣言の発出により、好調を持続することは出来ませんでした。県境を越える移動を避けるため、他府県の施設を利用していた府下の学校が当施設の利用に切り替えたり、キャンプの流行により家族でのテント利用が増えるなど、利用者層の変化もありました。プログラムとしては、防災食(個別調理)の野外炊飯や、家族向けの「焚き火」事業は好評を博しました。引き続き利用者にアピールし利用促進を図ります。

施設整備や修繕は、休館中を利用して技師中心で行い、経費削減と施設保全に努めました。

① 会議・研修

職員研修(防災カレー作り) 11人

大阪府との運営会議(5・9・12・3月)

消防訓練、防災講話(10月5日・3月3日) 16人

大阪府教育庁主催 人権教育地区別セミナー(10月28日・11月26日・12月2日・1月27日) 計6人

大阪府キャンプ協会リスクマネジメントセミナー(11月2日) 2人

キャンプインストラクター講習会(11月21～23日) 1人

近畿地区青少年教育施設協議会会長会議・専門委員会・研修会(12月15日～17日) 3人

ツリーイングT-1、T-2資格認定講習(12月5日～6日・1月16～17日) 1人

社会教育主事講習受講(1月7～31日) 2人

ツリーイング総会(1月23日) 2人

そぶらリーダー研修(2月6日～7日) 16人

近畿地区青少年教育施設ユースプロジェクト研修(2月9日) 4名

甲種防火管理者講習受講(2月17日～18日) 1人

② 施設管理

(館内設備)

本館浴槽ろ過器配管洗浄作業

B棟リーダー室空調修理(ガス充填)

宿直室空調機器取替え

公用車軽トラック(スバルサンバー)導入

自家発電機のパネル電球および始動用タイマー取替え

厨房排気ファン制御盤修理

誘導灯配線漏電修理工事

消火栓用ホース取替え(1本)

サーバー機取替え

(食堂設備)

食堂テーブルパーテーション設置

厨房ガス漏れ火災報知器取替え

(野外設備)

多目的広場倉庫屋根修繕
 倒木処理・登山道点検・屋外活動施設除草作業
 第2炊飯場かまど補修・B炊飯場柱修繕
 アスレチック場遊具点検

③ 利用状況

(単位:人、%)

	目標人数	前年人数	当年人数	前年比	宿泊人数	日帰人数
4月	13,050	12,423	0		0	0
5月	18,950	18,632	231	1.2%	41	190
6月	14,550	12,435	794	6.4%	209	585
7月	10,650	10,637	1,819	17.1%	460	1,359
8月	12,550	9,778	2,426	24.8%	889	1,537
9月	9,850	6,021	3,167	52.6%	1,387	1,780
上半期計	79,600	69,926	8,437	12.1%	2,986	5,451
10月	8,150	6,422	6,967	108.5%	2,639	4,328
11月	5,450	4,516	5,661	125.4%	874	4,787
12月	3,450	3,192	739	23.2%	246	493
1月	1,950	1,682	467	27.8%	87	380
2月	1,950	1,584	668	42.2%	49	619
3月	6,650	299	2,032	679.6%	647	1,385
下半期計	27,600	17,695	16,534	93.4%	4,542	11,992
合計	107,200	87,621	24,971	28.5%	7,528	17,443

宿泊団体数は 326 団体(前年 690 団体)、日帰り利用が 921 団体(前年1,113団体)

④ 主催・自主事業

<子ども対象事業>

子どもワイルドキャンプ(8月 6泊7日) 新型コロナウイルスの影響で延期
 中高生チャレンジキャンプ(8月 3泊4日) 新型コロナウイルスの影響で延期
 上記2事業を「チャレンジ&ワイルドキャンプ」として3月に実施 参加 17 人(予定 10 人)

<ファミリー事業>

GW 宿泊パック(5月 計5日) 新型コロナウイルスの影響で中止
 日帰りプレイパーク(5月 計5日) 新型コロナウイルスの影響で中止
 絵本でいただきます(5月 計2日) 新型コロナウイルスの影響で11月に延期
 ホタル観賞の夕べ(6月 計3回) 参加 65 人(各回予定 30 人)
 親子でしぜんのように①(7月) 参加 10 人(予定 40 人)
 秋のファミリーキャンプ(9月 1泊2日) 参加 41 人(予定 50 人)
 親子でしぜんのように②(10月) 参加 26 人(予定 40 人)
 はじめての木登り①(10月) 参加 13 人(予定 20 人)
 はじめての木登り②(11月) 参加 14 人(予定 20 人)
 えほんのひろば(11月 オープンディと同日開催) 参加 150 人(予定 50 人)

絵本でいただきます(11月 1泊2日・日帰り)	1泊2日21人 日帰り15人(予定15人)
大阪府アドプトフォレスト事業(11月)	新型コロナウイルスの影響で中止
家族で遊ぼうボードゲーム(1月)	新型コロナウイルスの影響で中止
親子でしぜんのように③(1月)	参加 28人(予定40人)
家族で焚き火を楽しもう(1~3月 計10回) (雨天の為1回中止)	参加688人(予定各回50人計500人)
<自然をまるかじり! シリーズ>	
木の実でジャム作り(7月)	参加 31人(予定30人)
初めてのダッチオープン(12月~2月 計3回)	参加 89人(予定60人)
<自然と文化のコラボレーション>	
コスプレの森(10~2月 計8回)	参加 48人(各回予定15人)
<大人が遊んで学ぶシリーズ>	
おとなのえんそく①(5月)	新型コロナウイルスの影響で中止
森の婚活(9月)	参加 25人(予定30人)
おとなのえんそく②(8月)	参加 16人(予定12人)
おとなのえんそく③(11月)	新型コロナウイルスの影響で中止
ツリーイングクライマー資格認定講座 T-1(12月 1泊2日)	
新型コロナウイルスの影響で延期 1月に実施	参加 6人(予定6人)
ツリーイングクライマー資格認定講座 T-2(1月 1泊2日)	
新型コロナウイルスの影響で延期 2月に実施	参加 5人(予定6人)
プロジェクトラーニングツリー指導者養成講座(1月 1泊2日)	
新型コロナウイルスの影響で延期 2月に実施予定が、催行人数に至らず中止	
<フォレストジュニアクラブ事業>	
第1回(6月 1泊2日)	参加 10人(予定24人)
第2回(7月 1泊2日)	参加 22人(予定24人)
第3回(9月 1泊2日)	参加 17人(予定24人)
第4回(12月 1泊2日)	新型コロナウイルスの影響で中止
第5回(1月 1泊2日)	新型コロナウイルスの影響で中止
第6回(3月 1泊2日)	参加 19人(予定24人)
<障がい者支援事業>	
乗馬体験と臨床動作法(10月)	台風接近の為中止
<地域連携事業・その他事業>	
プログラム体験会(4月)	新型コロナウイルスの影響で中止
防災キャンプ(9月)	参加 55人(予定50人)
自然の家オープンデー(11月)	参加664人(予定500人)
⑤ 出前講座	
おおさか元気広場 出前講座(要望により随時)	3回 参加 60人
⑥ ボランティアリーダーに関する事項	

- ・そぶらリーダー（事業補助・活動の指導）22人
- ・インターンシップ学生(大阪教育大学、大阪体育大学) 11人

⑦ 行政・地域との協働など

- ・サポート協力団体(レクプロ、葛城ネイチャー)との連携協力
- ・高齢者日雇い労働者就労支援にて就労場所の提供
- ・地域の消防署による山岳訓練の場所を提供
- ・大阪府こころの再生府民運動「こどもファーストデイ」に参加
- ・貝塚市図書館から書籍の貸出やイベントの紹介
- ・貝塚市の公民館等より依頼を受け、出前事業の実施

⑧ モニタリング

- ・施設アンケート、食事アンケートの実施
- ・団体代表者からの聞き取り調査

⑨ 大阪府により実施した施設維持管理業務

(館内設備)

- 濾過器室大型サーモスタット混合栓取替え
- 汚水処理場破砕機・荒目スクリーン取替え
- 第一電気室蓄電池・監視盤パワーサプライ交換
- 汚水処理場スカム返送ポンプ・送風機取替え、汚泥掻き寄せ機支持金具修繕
- 大研修室ドレン漏水修繕

(食堂設備)

- 食堂食洗器ブースター取替え
- 厨房ガス漏れ配管修理

(野外設備)

- 第3炊飯場揚水ポンプ修繕
- 下駐車場漏水修繕工事

(共同指定管理者 一般財団法人大阪府青少年活動財団)

(8) 大阪市立長居ユースホステル

大阪市立長居ユースホステルを含む、長居公園の指定管理者募集がありました。当協会も、わくわくパーククリエイティブ株式会社(ヤンマーホールディングス株式会社 100%出資の子会社)を代表とする共同指定管理者の一員(長居ユースホステルの運営を担当)として応募し、選定されました。

大阪市立長居ユースホステルも、当協会がこれまで運営していた2つのユースホステルと同様に、大阪府下の主要なユースホステルのひとつです。コロナ禍の厳しい情勢の中ではありますが、前指定管理者からの引継ぎに加えて新しい構想も注ぎ込み、大阪におけるユースホステル運動を力強く推進するための施設のひとつとして、4月1日の運営開始にむけて準備を行いました。

① 指定管理者への応募から開業までの動き

説明会及び現地見学会に参加 6月15日
申請書の提出(代表企業より) 受付期間8月24日～8月28日
応募者ヒアリング 9月24日
指定管理者選定の決定通知 10月25日
共同指定管理者による打合せ 11月24日(以降、毎月1回)
大阪市と基本協定書締結 12月9日
前指定管理者との引継ぎ・打合せ等 1月から随時
大阪市による引継ぎ式 3月31日

② 自主事業の構想

前指定管理者から引き継いで、卓球、ヨガ、落語等を継続して実施するほか、長居公園のスタジアムや植物園等と共催し、新しい事業を展開します。長居公園のスタジアムがセレッソ大阪の本拠地であることから、サッカー少年とその保護者が長居ユースホステルに宿泊し、セレッソ大阪ホームゲームを観戦するとともに、サッカースクールを受講する合宿を企画予定です。また、大幅改装される桜スタジアムの柿落としイベントを、長居公園全体で実施し、長居ユースホステルもこれを共同運営します。

新型コロナウイルスの収束状況に応じて、長居ユースホステルおよび長居公園を活動のフィールドとした子ども事業、親子事業等も展開してまいります。

(共同指定管理者 わくわくパーククリエイティブ株式会社 ※代表企業
セイレイ興産株式会社
一般財団法人大阪スポーツみどり財団
ヤンマーホールディングス株式会社
タイムズ24株式会社)

以 上